取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 356000商工部 40大森山動物園

【取組 事業No】 301 1 **【取組 事業名】** 動物とのふれあい飼育体験機会の提供

【事業概要】 動物園の特徴を活かし、動物飼育やふれあいなどの体験活動を通じて、職業意識の向上に結びつけたり、いのちの大切さや思いやりによる心豊かな人間性を育むなどの機会を提供する。

【事業の課題】

【事業の目標】 動物に関する知識を深め、生き物および自然を愛する気持ちを育てます。

【事業の目標指標】
 <指標> 「入園者数」に対する「体験学習・職場訪問、なかよしタイム、ふれあい教室の参加利用者と教職員等研修者数」の割合
 <基準値(20年度)> 13.6%
 <目標値(26年度)> 15.0%

	H20	H21	H22	H23	H24
なかよしタイム	30,545	44,737	25,629	37,539	38,271
ふれあい教室	3,074	2,697	2,803	4,148	3,944
体験学習 職場訪問	382	568	305	420	543
インターンシップ 教職員研修	17	21	17	20	24
総計	34,018	48,023	28,754	42,127	42,782
入園者	255,432	308,326	245,058	271,251	249,402
割合	13.3%	15.6%	11.7%	15.5%	17.2%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/in/zo/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (教職員)
 <子どもの対象年齢> 0歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,904千円	1,904千円	11.9%	動物由来感染症への対応で、なかよしタイムの開催数、参加者数が減少した。感染症対策の徹底とPRが必要である。
23	1,904千円	1,904千円	15.7%	衛生対策の徹底と様々な工夫で安全安心で楽しい動物園が評価された。安全安心対策と動物を間近に楽しむ工夫の継続とPRに努める。
24	1,904千円	1,904千円	17.2%	「もっと近くで、もっと感じて」を全面に打ち出し、動物の能力・魅力を伝えるとともに命とのふれあいを実践した。天候に恵まれない日が多かったが、利用実績は増加した。さらに効果的な展示サービスに努める。
25	1,904千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **重点施策**

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組 事業No】 301 2 **【取組 事業名】** 社会教育施設を活用した体験活動機会の提供

【事業概要】 公民館や自然科学学習館、太平山自然学習センターの社会教育施設を活用し、子どもの自主性や行動力を向上させ、思いやる心の育成や、知的好奇心を高めるため、様々な体験活動の機会を提供する。

【事業の課題】 事業効果を高めるため、様々な体験・交流の機会が図れる事業内容について検討する必要がある。

【事業の目標】 子どもの要望に応えられる体験活動機会を提供します。

【事業の目標指標】
 <指標>延べ参加者数
 <基準値(20年度)> 12,036人
 <目標値(26年度)> 12,000人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 7歳 ~ 15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	4,586千円	4,144千円	7,658人 (内訳) ・各公民館・市民サービスセンターの体験活動事業：1,099人 ・太平山自然学習センター：440人 ・自然科学学習館：6,119人	様々な体験活動により、参加者の交流と子どもの心身の育成を図るための事業を計画・実施する。
23	4,414千円	4,039千円	9,278人 (内訳) ・各公民館・市民サービスセンターの体験活動事業：1,351人 ・太平山自然学習センター：402人 ・自然科学学習館：7,525人	子どもの心身の育成を図るための事業を計画し、幅広く参加者を募るためのPRを実施する。
24	4,410千円	4,524千円	9,328人 (内訳) ・各公民館・市民サービスセンターの体験活動事業：1,592人 ・太平山自然学習センター：274人 ・自然科学学習館：7,462人	子どもの心身の育成を図るための事業を計画し、幅広く参加者を募るためのPRを実施する。
25	4,563千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 703000教育委員会 08スポーツ振興課

【取組 事業No】 301 3 **【取組 事業名】** 子ども体験活動推進事業

【事業概要】 小学校区毎に学校施設等を利用して「家族・地域の絆づくり」を推進するため、あきた家族ふれあいセンター（第3日曜日）に管理指導員を配置し、親子や地域住民の交流の場として学校開放事業を実施する。

【事業の課題】 親子、地域住民の参加を促すための周知方法について改善を図っていく必要がある。

【事業の目標】 家庭、地域、学校、社会教育施設が連携し、遊び、スポーツ、レクリエーション等を通じて、子どもの学校外活動を充実させます。

【事業の目標指標】
 <指標>延べ参加者数
 <基準値(20年度)>3,624人
 <目標値(26年度)>4,000人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (全世代)
 <子どもの対象年齢> 0歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	1,393千円	1,298千円	2,703人	平成23年度からは、学校開放についてはスポーツ振興課へ事業を移管する。
23	743千円	655千円	2,142人	地区によって参加者に偏りがあり、事業の周知が必要である。
24	713千円	637千円	2,664人	地区によって参加者に偏りがあり、事業の周知が必要である。
25	713千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 301000環境部 10環境総務課

【取組 事業No】 301 4 **【取組 事業名】** 環境学習・啓発事業

【事業概要】 子どもから大人までの幅広い年齢層を対象に、環境についてわかりやすく興味を持って学習する場を提供するほか、環境学習の推進に必要な支援を行うことにより、身近な自然や地域の環境を大切にすることを育む。
 なお、平成23年度から、自然環境保全と事業を統合し、一体的な事業の推進を図っている。現在の事業名：自然環境保全・環境学習推進経費)

【事業の課題】 環境教育の有効な手段である「こどもエコクラブ」活動の活性化を図る。

【事業の目標】 環境にやさしい人づくりを進めるため、環境学習を支援すると同時に、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象にし、環境に対する意識の向上を図るための各種啓発を行います。

【事業の目標指標】
 <指標> こどもエコクラブメンバーおよびサポーターの登録数
 <基準値(20年度)> 1,617人
 <目標値(26年度)> 1,000人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 3歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	2,742千円	2,562千円	1,742人	こどもエコクラブ間の交流の促進。県で実施を検討している交流会への積極的な参加を促す。
23	2,260千円	2,174千円	2,167人	こどもエコクラブ間の交流の促進。県と連携しながら、こどもエコクラブ交流会の開催を検討する。
24	2,035千円	1,926千円	2,236人	こどもエコクラブ間の交流の促進。県との共催によるこどもエコクラブ交流会の開催。
25	1,921千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供

【重点施策】

【部局課所室】

252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組 事業No】

301 5 【取組 事業名】 保育士体験事業の受入れ

【事業概要】

学校の総合学習の時間等を活用しながら、近隣の小中学校、高校の保育士体験を受け入れる。また、長期休みを利用して土曜日や夕方など保育体験を希望する人の受入れも検討する。

【事業の課題】

単なる保育所見学とならないために、受入生徒の年齢に合わせた体験コース等の設定が必要である。

【事業の目標】

多くの児童・生徒を受け入れることにより、子育てに対する直接的な関わりと多様な体験活動の場を提供するよう努めます。

【事業の目標指標】

指標>実施施設数
基準値(20年度)>13か所
目標値(26年度)>12か所

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (保育士)
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	13か所	保育体験を希望する人が増えるよう 楽しいと思える子育ての現場を体験させる。
23	0千円	0千円	13か所	保育体験を希望する人が増えるよう 楽しいと思える子育ての現場を体験させる。
24	0千円	0千円	13か所	保育体験を希望する人が増えるよう 楽しいと思える子育ての現場を体験させる。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 301 6 **【取組 事業名】** 『はばたけ秋田っ子』教育推進事業

【事業概要】 市内中学生が日頃取り組んでいる文化活動を発表し合う「中学校文化フェスティバル」や中学生が一つのテーマに基づいて自ら企画し行動する「中学生サミット」を開催するほか、複数の学校が合同体験活動を実施する「学校群合同体験活動」を実施し、感動体験の充実を図る。

【事業の課題】 中学生サミットにおける生徒の自主的な企画と運営に対する支援の充実をはかる。

【事業の目標】 他校との交流活動を通して感動体験を共有することにより、児童生徒の豊かな人間性を育みます。

【事業の目標指標】
 <指標>各校の取組状況を確認しながら、継続実施 中学校文化フェスティバル 中学生サミット
 学校群合同体験活動
 <基準値(20年度)> 参加生徒数 255人 参加生徒数 7,642人 参加校 25校
 <目標値(26年度)> 参加生徒数 250人 参加生徒数 7,000人 参加校 25校

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	3,388千円	3,085千円	9校 594人 市内 26校 2,529人 10グループ 35校、 1,562人	各校の取組を支援するとともに、学校間の交流をとおした感動体験の共有化を図ることができるよう、事業の一層の推進を図る。
23	3,339千円	2,888千円	8校 437人 24校 4,206人 10グループ 38校、 1,420人	各校の取組を支援するとともに、学校間の交流をとおした感動体験の共有化を図ることができるよう、事業の一層の推進を図る。
24	3,301千円	2,867千円	9校 481人 24校 1,701人 10グループ 38校 1,723人	各校の取組を支援するとともに、学校間の交流をとおした感動体験の共有化を図ることができるよう、事業の一層の推進を図る。
25	2,860千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 705000教育委員会 20中央図書館明德館

【取組 事業No】 301 7 **【取組 事業名】** 子どもの読書活動の推進

【事業概要】 各図書館において、おはなし会や各種講座、資料展示等を行う。また、出張おはなし会や出張講座、ブックトーク等の読書指導、移動図書館による学校巡回を行う。市民全体の読書活動を推進する中で、子どもの読書活動の意義を広く啓発する。

【事業の課題】 成長段階に応じた読書活動支援の必要性から、乳児とヤングアダルト層の読書活動支援を検討する。また、子どもの探求心や調べる意欲を尊重し、自らその目的に到達できるように手助けし、調べるための環境整備に努める必要がある。

【事業の目標】 考え方、学び方、表現の仕方、生き方を身につける大切な経験としての読書活動を推進し、次代を担う子どもの健やかな成長に資するよう市民全体に子どもの読書活動の意義を啓発していきます。

【事業の目標指標】
 <指標>子どもの登録者数
 <基準値(20年度)> 10,161人
 <目標値(26年度)> 10,200人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/m/t/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 0歳 ~ 17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	565千円	555千円	5,488人	様々な事業を展開し、子どもへの読書に親しみ環境づくりの充実に努める。
23	442千円	178千円	4,991人	様々な事業を展開し、子どもへの読書に親しみ環境づくりの充実に努める。
24	160千円	145千円	7,277人	様々な事業を展開し、子どもへの読書に親しみ環境づくりの充実に努める。
25	170千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】

401000農林部 1農林総務課

【取組 事業No】

301 8 **【取組 事業名】** 農業体験学習推進対策事業 (再掲)

【事業概要】

子どもたちが農業体験等を通じて「食」への理解を深め、豊かな情操を育むことを目的に小学校等が実施する農業体験学習に対し助成する。
また、奥檜岱地区第一市民農園の利用団体を対象に、農業体験等を通じた食育活動を支援する。

【事業の課題】

- ・農業体験学習のほ場提供などに協力してもらえない農業者が少ない。
- ・経費負担の問題等から、助成事業終了後に農業体験学習の継続ができない学校が多い。
- ・市街化地中心部の学校では近隣に農地がなく、農業体験学習を行うためにバス等での移動が必要となることから、経費負担が大きい。
- ・JAとの連携強化や協力農家のネットワークづくりなど、円滑な農業体験学習推進体制の構築や事業の実施方法について検討する必要がある。

【事業の目標】

農業体験学習を通じ、自然の恩恵や農業者の様々な知恵や活動を学ぶことで、「食」に関する感謝の気持ちと理解を身につけるよう、学校関係者や協力農家と連携し、食育の推進を図ります。

【事業の目標指標】

<指標> 事業を実施した学校の累計数
<基準値 (20年度)> 14校
<目標値 (26年度)> 24校

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/taken-gakusyu.htm>

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
<子どもの対象年齢> 3歳～12歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	400千円	400千円	小学校 4校、幼稚園 1園	農業体験学習に協力してもらえない農業者に限られ、学校側へ提供できる情報が少ない。JAなどの連携を強化し、農業者の情報を集める必要がある。
23	400千円	400千円	累計 8校 (単年度 小学校 4校、幼稚園 1園)	農業体験学習が学校の学習に取り入れられ、食育の推進が図られていることから、平成 25 年度をもって事業を廃止する予定。
24	240千円	240千円	累計 10校 (単年度 小学校 2校、幼稚園 1園)	同上。
25	80千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】 705000教育委員会 20中央図書館明德館

【取組 事業No】 301 9 **【取組 事業名】** 子ども読書活動推進事業

【事業概要】 市立図書館から「学校図書館サポーター」を、市内全小・中学校に派遣して図書室の整備や児童生徒の調べ学習への協力など学校との連携を図る。また、小中学校図書委員を対象に図書館司書の仕事や選書などの体験活動を実施する。

【事業の課題】 特段なし

【事業の目標】 「学校図書館サポーター」を派遣し、より一層読書に興味をもてるよう学校図書室の整備や、児童の調べ学習への支援に努めます。

【事業の目標指標】
 <指標>市立小中学校全校で図書室の整理および児童生徒の調べ学習への協力
 <基準値(20年度)> -
 <目標値(26年度)> 100%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mt/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 7歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	千円	千円		
23	千円	千円		
24	9,726千円	9,363千円	100%	学校図書館サポーターを市内全小・中学校に派遣して図書室の整備や児童生徒の調べ学習への協力など学校との連携を図る。
25	13,454千円	千円		学校図書館サポーターを市内全小・中学校に派遣して図書室の整備や児童生徒の調べ学習への協力など学校との連携を図る。
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】
【施策名】

3-1子どもの育成
301豊かな心の育成 子どもの体験活動機会の提供 **【重点施策】**

【部局課所室】

252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組 事業No】

301 -10 【取組 事業名】ブックスタート推進事業

【事業概要】

4か月以上1歳未満の乳幼児とその保護者を対象に、市立図書館等においてブックスタートパックを配布するとともに、司書等が行う絵本読み聞かせの実演を通じ、読み聞かせの円滑な普及とブックスタートの役割を広く周知する。

【事業の課題】

【事業の目標】

絵本の読み聞かせを通じて、乳幼児へ語りかける自然な親子関係のスタートを支援することで、子どもへの愛情を深めながら親子の絆づくりのきっかけをつくるとともに、子育てに対する意識の醸成を図ります。

【事業の目標指標】

<指標>
<基準値(20年度)> -
<目標値(26年度)>

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
<子どもの対象年齢> 0歳～0歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	千円	千円		
23	千円	千円		
24	千円	千円		
25	4,434千円	千円		保護者ニーズに沿った利用しやすい事業の構築、利用率の向上が必要である。
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 301豊かな心の育成 心の健康づくり体制の充実 【重点施策】

【部局課所室】 208500保健所 30健康管理課

【取組 事業No】 301 1 【取組 事業名】 精神保健福祉相談 教育事業

【事業概要】 心の健康相談の開催と思春期等の心の病気について健康講座を実施する。

【事業の課題】 早期に相談につながるよう今後も相談窓口の周知を図り、また、その悩みの原因によっては、関係機関との連携を図る必要がある。

【事業の目標】 心の病気について知識の普及啓発を図るとともに心の健康問題に関する相談を実施し、早期発見・早期治療に結びつくとができるように支援します。

【事業の目標指標】
 <指標>相談件数
 <基準値(20年度)>1,800件
 <目標値(26年度)>1,850件

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/hm/soudan.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	1,530千円	1,530千円	2,674件	心に関する健康相談、思春期講座の実施。相談件数の増加に伴い、心のケア相談の回数を増やし相談体制の充実を図る。
23	1,856千円	1,808千円	2,712件	心に関する健康相談、心のケア相談セミナーの実施。思春期等の精神疾患について知識の理解と対応能力の向上を図る。
24	1,886千円	1,866千円	2,187件	心に関する健康相談、心のケア相談セミナーの実施。思春期等の精神疾患について知識の理解と対応能力の向上を図る。
25	1,906千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 心の健康づくり体制の充実 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 301 2 【取組 事業名】 スクールカウンセラー配置事業 (県の事業)

【事業概要】 中学校にスクールカウンセラーを配置し、不安や悩みをもつ児童生徒や保護者の相談に応じるとともに、教職員と連携した対応を行う。

【事業の課題】 中学校区にある小学校の児童及び保護者の利用の促進を図る。

【事業の目標】 不安や悩みをもつ児童生徒および保護者に対する相談活動の充実、教職員との連携の強化により、不登校やいじめなどの対応の充実を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>相談件数
 <基準値 (20年度)> 2,413件
 <目標値 (26年度)> 2,500件

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (教職員、小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 15歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	2,726件 (内訳) 生徒 608件、保護者 762件、 生徒と保護者 182件、教職員 1,174件	不登校やいじめの問題に悩む子どもや保護者に親身に対応していくために、スクールカウンセラーと当該校の教職員の連携強化を図る。
23	0千円	0千円	2,380件 (内訳) 生徒 574件、保護者 642件、 生徒と保護者 166件、教職員 998件	不登校やいじめの問題に悩む子どもや保護者に親身に対応していくために、スクールカウンセラーと当該校の教職員の連携強化を図る。
24	0千円	0千円	2,191件 (内訳) 生徒 470件、保護者 566件、 生徒と保護者件、教職員 1,004件	不登校やいじめの問題に悩む子どもや保護者に親身に対応していくために、スクールカウンセラーと当該校の教職員の連携強化を図る。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

301豊かな心の育成 心の健康づくり体制の充実 【重点施策】

【部局課所室】

701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】

301 3 【取組 事業名】 「心の教室相談員」配置事業

【事業概要】

生徒や保護者が、不安や悩みを気軽に話せる第三者的な存在として「心の教室相談員」を中学校に配置する。(県委託事業)

【事業の課題】

相談内容に応じて、相談員と教職員の連携を図り、問題行動等の未然防止を図る。

【事業の目標】

「心の教室相談員」を配置することにより、校内教育相談体制の充実を図ります。

【事業の目標指標】

＜指標＞相談件数
 ＜基準値(20年度)＞150件
 ＜目標値(26年度)＞250件

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
 (教職員、中学校)
 <子どもの対象年齢> 13歳 ~ 15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	761千円	761千円	308件	上新城、太平、豊岩、岩見三内、雄和、下浜、下北手の7中学校に6人の相談員を配置した。 必ずしも相談件数の多寡が成果を表すとは言えない事業であり、生徒一人一人の状況に応じた相談活動となるよう、必要に応じて当該校の職員との連携を図ることが重要である。
23	761千円	748千円	364件	太平、豊岩、岩見三内、雄和、下浜、下北手の6中学校に6人の相談員を配置した。 必ずしも相談件数の多寡が成果を表すとは言えない事業であり、生徒一人一人の状況に応じた相談活動となるよう、必要に応じて当該校の職員との連携を図ることが重要である。
24	761千円	760千円	339件	太平、豊岩、岩見三内、雄和、下浜、下北手の6中学校に5人の相談員を配置した。 必ずしも相談件数の多寡が成果を表すとは言えない事業であり、生徒一人一人の状況に応じた相談活動となるよう、必要に応じて当該校の職員との連携を図ることが重要である。
25	761千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 301豊かな心の育成 心の健康づくり体制の充実 【重点施策】

【部局課所室】 255000子ども未来部 70子ども未来センター

【取組 事業No】 301 4 【取組 事業名】 思春期講座

【事業概要】 思春期の児童がいのちの大切さを認識し、自他の体と心に対し思いやりのある行動ができるとともに、生命を継承することの尊さや家庭を築くことの大切さを理解できるよう支援するため、小中学校と連携し講座を実施する。

【事業の課題】 各学校との連携し事業を進めていく必要がある。

【事業の目標】 参加者数の増加を図り、自他の体と心に対し思いやりのある行動ができるとともに、将来家庭を築き、子育てに希望がもてる児童を育成します。

【事業の目標指標】
 <指標> 講座の実施回数
 <基準値 (20年度)> 1回
 <目標値 (26年度)> 2回

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/cr/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 9歳 ~ 15歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	40千円	40千円	2回	中学校 1校、小学校 1校で実施
23	40千円	40千円	2回	中学校 1校、小学校 1校で実施
24	40千円	40千円	2回	中学校 1校、小学校 1校で実施
25	40千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

302健やかな体の育成

【重点施策】

【部局課所室】

703000教育委員会 08スポーツ振興課

【取組 事業No】

3021

【取組 事業名】 スポーツ少年団の育成・支援

【事業概要】

種目別交流大会の開催や指導者の保険料の助成、ジュニア指導者養成セミナー等の開催により、スポーツ少年団活動を活性化する。

【事業の課題】

少子化やライフスタイルの変化により団員数が減少傾向にあり、地域や種目によっては、単位団での活動に支障をきたしている。

【事業の目標】

スポーツ少年団の活動が子どもや保護者にとってより魅力的なものとなるよう働きかけ、多くの子どもがスポーツに親しめるよう支援します。

【事業の目標指標】

指標>小学生の加入率
 <基準値(20年度)> 28.3%
 <目標値(26年度)> 30.0%

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sp/sinnkou/suposyou.htm>

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()

<子どもの対象年齢> 6歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	1,599千円	1,531千円	27.7%	12の種目別交流大会の開催および指導者保険料の助成を行った。指導者養成セミナーは東日本大震災の影響で実施できなかった。23年度は、指導者養成セミナーの内容の充実、開催の周知を図り、より多くの指導者に参加を呼びかける。
23	1,767千円	1,720千円	27.2%	12の種目別交流大会の開催および指導者保険料の助成を行ったほか、指導者養成セミナーを開催した。指導者養成セミナーは、指導者の資質向上等を目的に開催しているが、参加者を見ると指導者よりも父兄の参加割合が多い傾向にある。今後は、多くの指導者に参加してもらえるようセミナーの内容の見直しや開催の周知をはかっていく。
24	1,760千円	1,695千円	25.9%	12の種目別交流大会の開催および指導者保険料の助成を行ったほか、指導者養成セミナーを開催した。セミナーは、主に指導者を対象としているが、割合は父兄の参加率が多い。多くの指導者に参加してもらえるようセミナーの周知をはかっていく。
25	1,700千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 302健やかな体の育成 【重点施策】

【部局課所室】 703000教育委員会 08スポーツ振興課

【取組 事業No】 3022 【取組 事業名】 幼児スポーツ教室

【事業概要】 秋田大学の協力を得て、就学前の幼稚園児等を対象としたスポーツ教室を開催し、運動遊びを通して体を動かす楽しさを体験させる。

【事業の課題】 幼稚園や保護者から開催回数の増加を望む声があるので、会場や指導者の確保に限りがあり、大幅な回数増加は困難となっている。

【事業の目標】 より多くの子どもたちが体を動かす楽しさを体験できるよう、多くの幼稚園、保育園に参加を働きかけます。

【事業の目標指標】
 <指標>参加幼稚園・保育園数
 <基準値(20年度)>21園
 <目標値(26年度)>40園

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 5歳～6歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	160千円	124千円	35園	協力を依頼している秋田大学から、学生の派遣数を減らしてほしいと要望があった。23年度は対応する職員を増員するほか、付添いの保育士にも手伝ってもらい、希望する幼稚園等がすべて参加できるようにする。
23	160千円	85千円	44園	前年度同様、協力を依頼している秋田大学のほうから、学生の派遣数を減らしてほしいと要望があった。年々、参加を希望する園も増加してきており、厳しい状況であるが、対応する職員を増員するほか、付添いの保育士にも協力してもらい、希望する幼稚園等がすべて参加できるよう事業を行っていく。
24	109千円	82千円	45園	教室については、年々参加を希望する園も増加してきており、好評を得ている。一方、事業に対応できる職員等の確保が年々厳しい状況となってきたり、対応に苦慮しているところである。
25	109千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 302健やかな体の育成 【重点施策】

【部局課所室】 208500保健所 30健康管理課

【取組 事業No】 3023 【取組 事業名】 エイズ予防対策事業

【事業概要】 エイズ相談 検査事業 (性感染症検査を含む)を実施するとともに予防啓発を行う。

【事業の課題】 性感染症・エイズに関する教育を思春期の世代に行うために、学校保健と地域保健との相互理解と連携が必要となる。

【事業の目標】 エイズクリニック 相談の利用率を高め、個々に対して正しい知識の普及のために機会教育を行います。

【事業の目標指標】
 <指標>エイズクリニック 相談件数
 <基準値 (20年度)> 378件
 <目標値 (26年度)> 390件

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/hm/aids.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 13歳 ~ 17歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	1,991千円	1,715千円	244件	利用者が減少傾向にある。エイズクリニック利用時を個別の重要な機会教育の場として捉えているため、利用者の増加を図るための継続した事業PRが必要とされる。
23	2,115千円	1,954千円	241件	停電により開催が1回中止となった。利用者の増加を図るため、引き続き事業のPRが課題となる。24年度はコンビニ等、より多くの人が目にする場所へパンフレット等の配付を依頼していく。
24	2,603千円	2,504千円	223件	新たに、免許センター、コンビニへのリーフレット配付等により事業周知に努めた。
25	2,392千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 302健やかな体の育成 【重点施策】

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組 事業No】 3024 【取組 事業名】 小学校フッ化物洗口事業

【事業概要】 秋田市立小学校4校の児童について、保護者の希望を確認し、週1回、学校でフッ化物洗口を継続的に実施する。

【事業の課題】 保護者がフッ化物洗口を希望していない児童に対する配慮について、学校側とも検討していく必要がある。

【事業の目標】 児童のむし歯予防対策の推進と児童自らの健康に関する意識の向上を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標> フッ化物洗口実施人数割合
 <基準値(20年度)> -
 <目標値(26年度)> 90%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 7歳～12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	千円	千円		
23	11,011千円	8,988千円	88.3%	9月から全学年で一斉に実施したため、実施回数が年25回にとどまった。24年度は、5月から開始し、実施回数を年36回としたい。
24	9,903千円	9,387千円	87.4%	5月から第2～第6学年で、9月から全学年で、各校で計36回程度実施した。25年度も同様に実施したい。
25	9,061千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 302健やかな体の育成 【重点施策】

【部局課所室】 208500保健所 30健康管理課

【取組 事業No】 3025 【取組 事業名】 子宮頸がん等ワクチン接種事業

【事業概要】 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種について対象者へ、接種費用の全額を助成する。

【事業の課題】

【事業の目標】 市民にワクチンの周知を図り、接種が円滑に実施されるよう努めます。(25年度～任意予防接種 定期予防接種)

【事業の目標指標】
 <指標>子宮頸がん予防ワクチン接種率
 <基準値(20年度)> -
 <目標値(26年度)> 85%

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/hm/skyukeigan-vaccine.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 0歳～ 17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	135,288千円	135,184千円		子宮頸がん予防ワクチンの供給が不足し、接種ができない状況が発生した。供給が安定される時には、広報等で周知を図る。
23	601,343千円	374,937千円	82.1%	子宮頸がん予防ワクチンの供給が安定し、希望者全員が接種できた。また、平成24年3月末日までの事業が、平成25年3月末日まで延長された。
24	298,078千円	280,791千円	87.1%	中学1年生の女子に対し、個人通知を行い接種を勧奨した。
25	271,370千円	千円		これまで任意予防接種であったが、法改正により25年度より定期の予防接種となった。
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 303確かな学力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組 事業No】 3031 【取組 事業名】 小・中学校情報教育環境の整備事業

【事業概要】 児童生徒の情報化対応能力を向上させるため、文科省の整備方針に準じて、コンピュータ室および普通教室へパソコンを整備する。

【事業の課題】 平成17年度にすべての市内小中学校にあるコンピュータ室、各普通教室、特別教室でインターネットへの接続が可能となっているが、今後、毎年度設備の更新が必要であり、地方交付税措置もあるが、市の負担も大きくなっている。

【事業の目標】 引き続き機器を更新し、児童生徒の情報化対応能力の向上を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>更新台数
 <基準値(20年度)>563台
 <目標値(26年度)>563台

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	174,133千円	166,201千円	466台	
23	175,323千円	166,606千円	373台	
24	146,905千円	143,415千円	326台	
25	135,973千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 303確かな学力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 3032 【取組 事業名】 学校訪問指導、教職員研修会の充実

【事業概要】 小中学校における学習指導等の充実を図るため、学校訪問指導を通し助言等を行うとともに、教職員の指導力の向上にかかる教職員研修会の充実を図る。

【事業の課題】 児童生徒の実態を踏まえた助言と、教職員のニーズに応じた研修内容を工夫する。

【事業の目標】 児童生徒一人ひとりに、確かな学力を身につけさせるよう、学校における学習指導の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上にかかる研修会の充実を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標> 学習指導にかかる学校訪問数 学習指導にかかる教職員研修会の講座数
 <基準値(20年度)> 7校 2講座
 <目標値(26年度)> すべての小中学校 30講座

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0円	0円	全小中学校に加え、市立高等学校2校、専修学校1校 2講座	児童生徒の学習状況や各校の実情に応じた授業改善と学習指導の充実を図られるよう、本市「学校教育の重点」に基づき、現職教員との協議を深めながら、課題解決のための具体的な指導助言等を行う。教科等の指導における今日的な課題や授業づくりのあり方について、効果的で実効性のある研修となるよう内容の充実を図る。
23	0円	0円	全小中学校に加え、市立高等学校2校、専修学校1校 6講座	児童生徒の学習状況や各校の実情に応じた授業改善と学習指導の充実を図られるよう、本市「学校教育の重点」に基づき、現職教員との協議を深めながら、課題解決のための具体的な指導助言等を行う。教科等の指導における今日的な課題や授業づくりのあり方について、効果的で実効性のある研修となるよう内容の充実を図る。
24	0円	0円	全小中学校に加え、市立高等学校2校、専修学校1校 7講座	児童生徒の学習状況や各校の実情に応じた授業改善と学習指導の充実を図られるよう、本市「学校教育の重点」に基づき、現職教員との協議を深めながら、課題解決のための具体的な指導助言等を行う。教科等の指導における今日的な課題や授業づくりのあり方について、効果的で実効性のある研修となるよう内容の充実を図る。
25	0円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 304家庭の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 255000子ども未来部 70子ども未来センター

【取組 事業No】 3041 【取組 事業名】 児童家庭相談、女性相談

【事業概要】 子どもの最善の利益を考慮し、子どもおよびその家庭の相談に応じ、保護者も含めた支援により子どもの福祉の向上を図る。また女性に関する相談に応じ、自ら問題を解決していけるように支援する。

【事業の課題】 複雑な背景を持つことが多い児童家庭相談および女性相談に対応するために、相談体制の強化が必要である。

【事業の目標】 児童家庭相談に適切に対応することにより子どもの健やかな育成を支援します。女性相談の充実に努め、子育て力の向上を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>相談件数
 <基準値(20年度)>6,709件
 <目標値(26年度)>7,690件

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 0歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	20,958千円	18,945千円	5,341件	各機関との連携を図りながら、子どもおよびその家庭の相談に応じていく。
23	18,847千円	18,279千円	3,933件	相談事業の充実を図ると共に、家庭相談事業のPRにも努め気軽に相談できるようにする。
24	17,896千円	17,522千円	4,303件	相談員研修の見直しを図り、多岐に亘る相談に対応していく。
25	17,564千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 304家庭の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組 事業No】 3042 【取組 事業名】 家庭教育相談事業

【事業概要】 子ども未来センターの家庭相談員へ相談業務を委嘱し、電話・面接相談や保育園、幼稚園や母子福祉施設への訪問相談を行う。また、公民館で実施している家庭教育講座等への指導や助言をする。

【事業の課題】 子育てについて保護者等の悩みや不安を解消するための効果的な相談体制づくりが必要である。

【事業の目標】 保護者等が安心して子育てについての相談ができ、自立していける体制づくりに努めます。

【事業の目標指標】
 <指標>相談件数
 <基準値(20年度)> 1,131件
 <目標値(26年度)> 1,200件

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 0歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	989件	各機関との連携を図りながら、子どもおよびその家庭の相談に応じていく。(「304家庭の教育力の向上、子ども未来センター所管項目と同等」)
23	0千円	0千円	939件	各機関との連携を図りながら、子どもおよびその家庭の相談に応じていく。(「304家庭の教育力の向上、子ども未来センター所管項目と同等」)
24	0千円	0千円	827件	各機関との連携を図りながら、子どもおよびその家庭の相談に応じていく。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 304家庭の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組 事業No】 3043 【取組 事業名】 乳幼児学級

【事業概要】 公民館等において、地域の子育て経験者や支援ボランティアと連携し、乳幼児を持つ親と子に交流の機会を提供しながら、子どもを取り巻く諸問題や家庭でのしつけの大切さなど、子育てに関する様々な学習機会を提供することにより、家庭の教育力の向上を図る。

【事業の課題】 参加者の拡充のため、より効果的な事業を立案することが課題である。

【事業の目標】 学習機会の拡充に努め、家庭教育力の向上を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標> 延べ参加者数
 <基準値 (20年度)> 4,821人
 <目標値 (26年度)> 5,000人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 0歳 ~ 5歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	545千円	517千円	4,546人	少子化が進む社会の中で、乳幼児やその家庭での子育てを支援するための学級や講座を実施する。
23	543千円	475千円	3,901人	少子化が進む社会の中で、乳幼児やその家庭での子育てを支援するための学級や講座を実施する。
24	535千円	448千円	3,589人	少子化が進む社会の中で、乳幼児やその家庭での子育てを支援するための学級や講座を実施する。
25	531千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 304家庭の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組 事業No】 3044 【取組 事業名】 家庭教育学級

【事業概要】 子どもを取り巻く社会環境の著しい変化に対応して、家庭が子どもの成長に必要な機能を十分に果たすことができるよう、市内における各公民館・西部市民サービスセンターが中心となって子育てに関する学習機会を提供する家庭教育学級を開催する。なお、仕事を持っている女性や、父親の家庭教育への参加の重要性が高まっていることから、父親も参加できるように、就労後の家庭教育学級の開催も行う。

【事業の課題】 いかにニーズを把握し、また、PTAと連携してバラエティに富んだ魅力のある講座にするかが今後の課題である。

【事業の目標】 子育てに関する学習機会を提供します。

【事業の目標指標】
 <指標>公民館等における実施回数
 <基準値(20年度)> 65回
 <目標値(26年度)> 70回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 7歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	609千円	609千円	145回	いかにニーズを把握し、魅力ある学習機会(講座)を提供するか。 また、現状の把握に努め、各公民館等で積極的に学習機会の提供を図っており、実施回数が増加傾向にあるので、目標値の見直しが必要である。
23	24千円	224千円	63回	いかにニーズを把握し、魅力ある学習機会(講座)を提供するか。 また、現状の把握に努め、各公民館等で積極的に学習機会の提供を図っており、実施回数が増加傾向にあるので、目標値の見直しが必要である。
24	207千円	195千円	63回	いかにニーズを把握し、魅力ある学習機会(講座)を提供するか。 また、現状の把握に努め、各公民館等で積極的に学習機会の提供を図っており、実施回数が増加傾向にあるので、目標値の見直しが必要である。
25	214千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 304家庭の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703700教育委員会 1女性学習センター

【取組 事業No】 3045 【取組 事業名】 親のためのセミナー

【事業概要】 親同士の交流を図りながら、子育てや家族・家庭の大切さ、男女の固定的な役割分担意識の見直しなどについて考える機会とする。

【事業の課題】 親が安心して参加できるよう託児の受け入れ環境を充実させる必要がある。

【事業の目標】 親同士が子育てや家族、家庭の悩みなどについて話し合い、交流を図ることにより、多様な考えに触れ、親が自分自身について振り返り、心身ともに健康な子どもを育てるための前向きな方法を見いだすとともに、男女平等観に立った家族・家庭の大切さや子どもの問題および教育に対する親の関心をさらに高めます。

【事業の目標指標】
 <指標>延べ参加人数
 <基準値(20年度)>61人
 <目標値(26年度)>65人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 3歳 ~ 12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	20千円	15千円	Part1 :延べ 26人 Part2 :延べ 8人 計 :延べ 34人	開催時期が冬期になると、当日欠席など参加者が減少した。23年度は、時期や回数を見直す他、参加者が楽しく気軽に情報交換や交流をする機会を増やし参加者の増加を図る。
23	64千円	64千円	Part1 :延べ 73人 Part2 :15人 Part3 :延べ 9人 計 :延べ 97人	シングルマザー対象の参加者が少ない。広報あきた掲載の他、チラシの配布先や開催日時等を考慮し、参加者の増加を図る。
24	48千円	122千円	Part1 :延べ 49人 Part2 :延べ 10人 Part3 :12人 Part4 :7人 計 :延べ 78人	シングルマザー対象の「がんばるママの交流サロン」は午前調理をしたことにより、午後からの情報交換をスムーズに行うことができた。
25	29千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組 事業No】 3051 【取組 事業名】 放課後子ども教室推進事業

【事業概要】 児童館等において、児童館運営委員会や地域のボランティア組織である児童育成クラブ等地域の様々な資質を有する多くの方々の協力を得ながら、放課後の子どもたちに健全な遊びの場、様々な体験・交流・学習の機会、安全、安心な子どもの居場所を提供する。

【事業の課題】 地域により協力体制に隔たりがあることから、児童館運営委員協議会や児童育成クラブ世話人連絡協議会と協議しながら、地域の協力体制の再整備を進めていく必要がある。

【事業の目標】 児童館運営委員会や児童育成クラブ等地域の方々の参画を得て、子どもたちの社会性、自主性、創造性等豊かな人間性を育てます。

【事業の目標指標】
 <指標> 児童育成クラブの活動回数
 <基準値 (20年度)> 1,816回
 <目標値 (26年度)> 2,041回

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/lf/gidoukan/gidoukan-gyoujih.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (地域住民)
 <子どもの対象年齢> 0歳 ~ 17歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	2,934千円	2,993千円	2,604回	放課後子ども教室における交流・体験活動や、子どもたちへの指導を充実させるためには、地域の協力が不可欠であるが、協力体制がうまく機能していない子ども教室も見られることから、児童館運営委員協議会や児童育成クラブ世話人連絡協議会と協議しながら、先進的な地域協力の取組事例を紹介するなど、必要に応じて情報提供していく。 なお、22年度の活動回数は、26年度の目標値を上回っているが、活動回数にかかわらず一律で支払っていた活動謝金を、22年度から活動延べ人数により支払うこととしたことが要因と推察される。
23	3,353千円	3,004千円	2,455回	活動回数や人数が地区により格差があることから、児童館運営委員協議会や児童育成クラブ世話人連絡協議会と協議しながら、先進的な地域協力の取組みなど、必要に応じて情報提供していく。
24	3,514千円	3,214千円	2,915回	活動回数や人数が地区により格差があることから、児童館運営委員協議会や児童育成クラブ世話人連絡協議会と協議しながら、先進的な地域協力の取組みなど、必要に応じて情報提供していく。
25	3,360千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

305地域の教育力の向上

【重点施策】

【部局課所室】

252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組 事業No】

3052

【取組 事業名】 子ども会世話人の活動支援

【事業概要】

子ども会世話人の組織である「秋田市子ども会育成連絡協議会」の活動を支援し、子ども会相互の交流を促進するとともに、町内会をはじめとした地域団体等との連携により、様々な体験活動機会の創出に努める。

【事業の課題】

少子化に伴い、子ども会の会員数が減少傾向にあり、単体活動が行いづらい環境となっている。また、スポーツ活動や塾通い等により、子ども会活動が時間的制約に縛られるようになり、活動の機会が奪われている。そのうえ、子ども会活動を直接支援する世話人の減少も目立っている。

【事業の目標】

子ども会世話人を支援し、活発な子ども会活動を推進します。

【事業の目標指標】

＜指標＞組織率（47学校中 39組織）

＜基準値（20年度）＞83%

＜目標値（26年度）＞85%

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分

()

＜子どもの対象年齢＞7歳～12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	100千円	100千円	84%	子ども会相互の交流を促進するとともに地域団体等との連携により様々な体験活動の機会を創出するため、引き続き、秋田市子ども会育成連絡協議会の活動を支援していく。
23	100千円	0千円	84%	子ども会相互の交流を促進するとともに地域団体等との連携により様々な体験活動の機会を創出するため、引き続き、秋田市子ども会育成連絡協議会の活動を支援していく。
24	100千円	0千円	84%	子ども会相互の交流を促進するとともに地域団体等との連携により様々な体験活動の機会を創出するため、引き続き、秋田市子ども会育成連絡協議会の活動を支援していく。
25	100千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 252000子ども未来部 20子ども育成課

【取組 事業No】 3053 【取組 事業名】 子ども会活動の表彰

【事業概要】 特に優れた活動をしている子ども会や子ども会世話人を表彰し、広く活動の奨励を図る。

【事業の課題】 年々会員数が減少し、行事等も少なくなっているなか、どのように活動を促進させていくべきか。

【事業の目標】 子ども会活動への意識を高め、自発的活動を推進します。

【事業の目標指標】
 <指標>表彰団体等数
 <基準値(20年度)> 9
 <目標値(26年度)> 13

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 7歳 ~ 12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	56千円	56千円	奨励賞 5子ども会 優良賞 1子ども会 特別活動賞 3子ども会 育成功労賞 4個人、1団体	年々会員数が減少し、行事等も少なくなっていることから、子ども会活動への意識を高め、自発的活動を推進するため、優れた活動をしている子ども会等の表彰を継続して実施し、広く活動の奨励を図っていく。
23	82千円	57千円	奨励賞 2子ども会 育成功労賞 2個人	年々会員数が減少し、行事等も少なくなっていることから、子ども会活動への意識を高め、自発的活動を推進するため、優れた活動をしている子ども会等の表彰を継続して実施し、広く活動の奨励を図っていく。
24	52千円	27千円	奨励賞 1子ども会 優良賞 2子ども会 育成功労賞 2個人	年々会員数が減少し、行事等も少なくなっていることから、子ども会活動への意識を高め、自発的活動を推進するため、優れた活動をしている子ども会等の表彰を継続して実施し、広く活動の奨励を図っていく。
25	82千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組 事業No】 3054 【取組 事業名】 子ども会リーダー研修の実施

【事業概要】 野外活動や宿泊生活を体験しながら、地域の子供会活動やグループ活動におけるリーダーとしての自覚や協調性、基礎的な知識や技術を習得する。また学校外、異年齢間の交流を体験する機会として実施することにより、協調性や社会性を育む。

【事業の課題】 少子化に伴う子ども会活動の参加者の減少と、支援する世話人の減少、指導者の不足が課題である。

【事業の目標】 自発的な子ども会活動を推進するリーダーを養成し、子ども会活動を活発化させます。

【事業の目標指標】
 <指標>延べ参加者数
 <基準値(20年度)> 201人
 <目標値(26年度)> 250人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 11歳 ~ 15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	67千円	67千円	188人	
23	60千円	0千円	63人	少子化により子ども会活動への参加人数自体が減少しているが、活動自体を活発化させるよう研修会を実施していく。
24	0千円	0千円	55人	少子化により子ども会活動への参加人数自体が減少しているが、活動自体を活発化させるよう研修会を実施していく。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703500教育委員会 09生涯学習室

【取組・事業No】 3055 【取組・事業名】 世代間交流事業

【事業概要】 公民館において、世代間交流事業を行い、子どもが高齢者との交流を通じ、心のふれあいや相互交流を深め豊かな人間性を育むとともに、地域の伝統芸能や風習を学び、昔話や高齢者の貴重な経験談を聞く機会を提供する。

【事業の課題】 感染症対策や不審者対策の必要性も高まっているので、その対策が必要である。

【事業の目標】 高齢者との交流を通して、子どもの豊かな人間性と生きる力を育みます。

【事業の目標指標】
 <指標>延べ参加者数
 <基準値(20年度)> 698人
 <目標値(26年度)> 800人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (全世代)
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	170千円	119千円	698人	異世代間の交流により、地域の連携意識の高揚を図るため、事業の充実につとめる。
23	160千円	176千円	945人	異世代間の交流により、地域の連携意識の高揚を図るため、事業の充実につとめる。
24	157千円	158千円	843人	異世代間の交流により、地域の連携意識の高揚を図るため、事業の充実につとめる。
25	166千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【郵局課所室】 205000福祉保健部 50長寿福祉課

【取組 事業No】 3056 【取組 事業名】 老人保健福祉月間における小学生の取組

【事業概要】 小学生が、老人保健福祉月間にちなんだ敬老標語づくりを行うことで、子どもたちが長寿社会と自らが果たすべき役割について考えるための機会を設ける。
 また、子どもたちが自らの立場で長寿社会について考える機会をつくるため、老人福祉月間啓発用リーフレットなどを市内の各小学校へ配布し、周知する。

【事業の課題】

【事業の目標】 心豊かな社会、福祉のまちづくりを進めるため、高齢者について考える機会を提供します。

【事業の目標指標】
 <指標> 作品応募数
 <基準値 (20年度)> 3小学校から60作品の応募
 <目標値 (26年度)> 3小学校から60作品の応募

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/lg/gekkan/H24/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 12歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	281千円	252千円	3小学校から60作品の応募	22年度までは主な周知方法としてリーフレットの作成の他、市庁舎へ看板を掲示していたが、23年度より取りやめるため、より効果的な周知方法の検討が必要である。
23	316千円	302千円	3小学校から60作品の応募	23年度は主な周知方法としてポスターとメモ帳を作成し福祉施設等へ配布した。24年度は周知に際し、より効果的なリーフレットの作成が必要である。
24	320千円	301千円	3小学校から60作品の応募	24年度は主な周知方法としてポスターとメモ帳を作成し福祉施設等へ配布した。より効果的なリーフレットを作成し教育施設や福祉施設へ配布した。
25	321千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703000教育委員会 08スポーツ振興課

【取組 事業No】 3057 【取組 事業名】 総合型地域スポーツクラブの設立支援と育成

【事業概要】 秋田県広域スポーツセンターとの連携により、総合型地域スポーツクラブの設立と既存クラブの育成を支援する。

【事業の課題】 平成20年度までに9つのクラブが設立されているが、多項目・多世代型のクラブが少なく、地域での世代間交流に結びつきにくい。

【事業の目標】 既存のクラブの活動が地域で広まるように支援するとともに、クラブが設立されていない2地区へも設立を働きかけます。

【事業の目標指標】
 <指標>総合型地域スポーツクラブ数
 <基準値(20年度)>9
 <目標値(26年度)>11

【関係HP】 <http://www.pref.akita.jp/taiku/akispo/life/whats.html>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (子どもを含めた地域住民)
 <子どもの対象年齢> 歳～歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	11	クラブの設立地域に偏りがあり、また、地域との結びつきが少ないクラブもある。23年度は、県と連携を図り、モデル事業に指定されたクラブを中心とした地域の活性化、健康づくりを支援する。
23	0千円	0千円	11	23年度は、設立されたクラブがないため、引き続き県と連携をはかり、設立にむけた活動を行っていく。また、地域の活性化、健康づくり事業など実施しているクラブに対し、支援を行っていく。
24	0千円	0千円	12	新規クラブの設立に向け、引き続き県と連携をはかっていく。また、既存クラブの育成等について、引き続き支援を行っていく。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 305地域の教育力の向上 【重点施策】

【部局課所室】 703000教育委員会 08スポーツ振興課

【取組 事業No】 3058 【取組 事業名】 学校体育施設の開放事業

【事業概要】 身近な学校体育施設を利用して市民の健康 体力の保持増進を図るため、市立小中学校の体育館およびグラウンドを学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ活動やスポーツ少年団の活動に開放する。

【事業の課題】 団体登録使用の増加とともに、新規の団体登録者が使用できる時間帯がないことや、個人で利用できる指定開放日にも特定の団体が使用して使用できないなどの問題ができており、今後の開放方法や周知方法に検討が必要となっている。

【事業の目標】 効率的な利用を促進し、多くの市民が身近な学校体育施設を活用し、健康 体力づくりに取り組めるようにします。

【事業の目標指標】
 <指標>指定開放日の使用人数
 <基準値(20年度)> 19,683人
 <目標値(26年度)> 22,000人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sp/sinnkou/ka hou.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (子どもを含めた地域住民)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	2,754千円	2,412千円	18,203人	指定開放を実施しても、参加者が少ない地域があった。23年度から第3日曜日のサンサンデー学校開放もスポーツ興課で実施することになっており、開放時のスポーツ教室の実施等により、各地区で学校体育施設の開放事業の周知を図る。
23	2,835千円	1,489千円	10,471人	節電等の関係により、開放回数を減らした影響もあり、利用者数は減少しているが、開放事業については、地域によって利用者数にばらつきがある。今後は、地域住民等が気軽に参加できるようなスポーツ教室を実施するなど、事業の見直し等をはかっていく。
24	2,772千円	2,626千円	19,036人	開放の機会を利用して、地域住民を対象としたスポーツ教室を開催し、地域住民にスポーツを楽しんでもらえる機会を提供した。地区によって、利用者数に偏りがあり、今後も、開放事業の広く市民に周知していく必要がある。
25	2,772千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 306信頼される学校づくり 開かれた学校づくり 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 3061 【取組 事業名】 学校評議員活用事業

【事業概要】 学校が、地域の実情を踏まえ、有識者、関係機関団体・地域代表、保護者等の3分野から合計3～6人を市教委に推薦し、年間2回以上の会議をもち、学校運営に対し意見をもらう

【事業の課題】 「絆づくり教育プラン」や「学校評価」などにかかわる協議など、各校の実情に応じた活用が図られるよう工夫する。

【事業の目標】 学校評議員から、特色ある教育活動や地域・保護者との連携のあり方など、学校運営についての意見や助言等を得ることにより、開かれた学校づくりを推進します。

【事業の目標指標】
 <指標> 1校あたりの活用回数
 <基準値(20年度)> 2.5回
 <目標値(26年度)> 2.8回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 歳～歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	952千円	938千円	2.6回	各校の実情に応じた活用が図られるよう運用の工夫について周知していく。
23	938千円	924千円	2.8回	学校各校の実情に応じた活用が図られるよう運用の工夫について周知していく。
24	0千円	0千円	4.0回	学校各校の実情に応じた活用が図られるよう運用の工夫について周知していく。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 306信頼される学校づくり 開かれた学校づくり 【重点施策】

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組 事業No】 3062 【取組 事業名】 通学区域の弾力化

【事業概要】 児童生徒の様々な実情に応じ、保護者の意向に配慮した学校選択機会を拡大するため、通学区域の弾力的な運用を行う。

【事業の課題】 教育的配慮を要し指定校を変更するケースが多様化していることから、審査会で個別に対応しなければならない。

【事業の目標】 教育的な配慮に基づき指定学校以外の学校への就学に向けた処理を適正に行います。

【事業の目標指標】
 <指標> 適正処理率
 <基準値 (20年度)> 100%
 <目標値 (26年度)> 100%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 15歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	100%	審査会の開催回数 16回
23	0千円	0千円	100%	審査会の開催回数 15回
24	0千円	0千円	100%	審査会の開催回数 11回
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 307特別な支援を要する子どもへの支援 【重点施策】

【部局課所室】 701000教育委員会 030学事課

【取組 事業No】 3071 【取組 事業名】 小・中学校就学奨励事業

【事業概要】 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒（特別支援学級に通学する児童生徒含む）の保護者に対し、必要な援助を行う

【事業の課題】 近年の経済・雇用情勢により就学困難と認められる児童生徒の保護者が増加傾向にある。

【事業の目標】 学校教育法の規定に基づき、就学困難な児童生徒の保護者へ必要な援助を行うことにより、すべての学齢児童生徒に対し義務教育を保証します。

【事業の目標指標】
 <指標> 適正な援助率
 <基準値 (20年度)> > 100%
 <目標値 (26年度)> > 100%

【関係HP】 学事課HP
<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/default.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	302,512千円	286,895千円	100%	認定者数 3,268人
23	330,739千円	307,431千円	100%	認定者数 3,436人
24	349,901千円	319,669千円	100%	認定者数 3,488人
25	357,016千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

307特別な支援を要する子どもへの支援

【重点施策】

【部局課所室】

701000教育委員会 030学事課

【取組 事業No】

3072

【取組 事業名】 小・中学校特別支援学級新設経費

【事業概要】

新設される特別支援学級において、児童生徒の障がいに適応した教育を行うために必要な備品を購入する。

【事業の課題】

【事業の目標】

新設される特別支援学級に必要な備品を購入することで、児童生徒の障がいに適応した教育を行います。

【事業の目標指標】

＜指標＞適正な整備
 ＜基準値（20年度）＞1,204千円
 ＜目標値（26年度）＞602千円

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()

＜子どもの対象年齢＞ 6歳～ 15歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	672千円	509千円	509千円	小学校 4校 5学級 中学校 6校 6学級
23	602千円	273千円	273千円	小学校 2校 2学級 中学校 2校 2学級
24	1,072千円	994千円	994千円	小学校 6校 6学級 中学校 2校 2学級
25	1,032千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 307特別な支援を要する子どもへの支援 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 3073 【取組 事業名】 適応指導センター「すくうる みらい」運営事業

【事業概要】 適応指導教室「すくうる みらい」を中心に、不登校児童生徒およびその保護者に対する支援を行う。

【事業の課題】 不登校のきっかけ、不登校が継続している要因、不登校の状況は様々であり、個々の状況に応じた適切な支援が必要である。

【事業の目標】 不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図ります。

【事業の目標指標】 指標>不登校児童生徒の好ましい変化(学校復帰、復帰傾向)の割合 適応指導教室 フレッシュフレンド派遣
 <基準値(20年度)> 8名(28%) 8名(66%)
 <目標値(26年度)> 40% 70%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	3,189千円	2,456千円	27%(在籍児童生徒15人のうち、1人が学校復帰し3人に復帰傾向) 50%対象児童生徒12人のうち、2人が学校復帰し4人に復帰傾向)	不登校の状況は児童生徒により様々であり、その改善傾向についても様々ではない。今後も、保護者や在籍校の教職員との連携を深めながら、一人一人の状況に応じた適切な支援に努める必要がある。
23	3,029千円	2,469千円	32%(在籍児童生徒19人のうち、1人が学校復帰し5人に復帰傾向) 20%対象児童生徒10人のうち、2人に復帰傾向)	不登校の要因は、その児童生徒により多様であることから、今後も、本人と保護者の要望や意向に添いつつ、適切な支援の継続に努めていく必要がある。
24	2,935千円	2,683千円	25%(在籍児童生徒12人のうち、3人が学校復帰し4人に復帰傾向) 25%対象児童生徒16人のうち、4人に復帰傾向)	不登校の要因は、その児童生徒により多様であることから、今後も、本人と保護者の要望や意向に添いつつ、適切な支援の継続に努めていく必要がある。
25	3,376千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 307特別な支援を要する子どもへの支援 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 3074 【取組 事業名】 特別支援教育推進事業

【事業概要】 障がいのある児童生徒が学校行事や校外学習に参加する際、学校行事等支援サポーター」を、通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒に「学級生活支援サポーター」を、国籍を問わず、日本語の理解が十分でない児童生徒に「日本語指導支援サポーター」を派遣する。

【事業の課題】 サポーター派遣に関する学校や保護者の要望は増加しており、できる限りその要望に応えられるよう事業の拡充を図るとともに、支援の充実を図る。

【事業の目標】 特別な支援を必要とする児童生徒の一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図ります。

【事業の目標指標】
 指標>各校からの要望に応えながら事業を拡充する。 学校行事等支援サポーター数 学級生活支援サポーター数 日本語指導支援サポーター数
 <基準値(20年度)> 延べ114人 延べ58人 延べ11人
 <目標値(26年度)> 延べ150人 延べ90人 延べ12人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	1,214千円	1,123千円	延べ142人 延べ271人 延べ11人	児童生徒の障がいの複雑化や保護者の教育的ニーズの多様化に伴い、一人一人の状況に応じた適切な支援を行うことができるよう、サポーター研修会の改善を図るなど、事業の充実に努める。
23	1,327千円	1,232千円	延べ161人 延べ98人 延べ11人	児童生徒の障がいの複雑化や保護者の教育的ニーズの多様化に伴い、一人一人の状況に応じた適切な支援を行うことができるよう、引き続き、サポーター研修会の改善を図るなど、事業の充実に努める。
24	1,429千円	1,340千円	延べ181人 延べ102人 延べ15人	児童生徒の障がいの複雑化や保護者の教育的ニーズの多様化に伴い、一人一人の状況に応じた適切な支援を行うことができるよう、引き続き、サポーター研修会の改善を図るなど、事業の充実に努める。
25	1,411千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 【重点施策】

【部局課所室】 701500教育委員会 04学校教育課

【取組 事業No】 3081 【取組 事業名】 情報モラル指導の充実

【事業概要】 各校が、計画的に情報モラルの指導を行うために、指導実践例や発達段階に応じた授業資料を提供する。

【事業の課題】 各校に、適切な授業資料を提供する。

【事業の目標】 各校に、発達段階に応じた情報モラル指導の資料を提供します。

【事業の目標指標】
 <指標>適切な資料の提供
 <基準値(20年度)>生徒指導連絡協議会や教職員研修会で提供するとともに、教育研究所HPに掲載
 <目標値(26年度)>資料の更新などを図りながら各校に提供する

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6歳～15歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	0千円	0千円	小中の連携を図った情報モラル指導や仮想携帯機能を活用した実践例などの指導資料を作成し、各校に提供するとともに、教育研究所HPに掲載した。	ネットトラブルの未然防止とトラブル発生時の適切な対応を図るために、作成した資料をもとに教職員研修や学校訪問指導などをおして、各校に指導する。
23	0千円	0千円	情報教育主任研修会や小中の連携を図った情報モラル指導をおし、トラブル発生時の対応や子どもに身に付けさせたい資質や能力について指導した。	引き続き、ネットトラブルの未然防止とトラブル発生時の適切な対応を図るために、作成した資料をもとに教職員研修や学校訪問指導などをおして、各校に指導する。
24	0千円	0千円	情報教育主任研修会や小中の連携を図った情報モラル指導をおし、トラブル発生時の対応や子どもに身に付けさせたい資質や能力について指導した。	引き続き、ネットトラブルの未然防止とトラブル発生時の適切な対応を図るために、作成した資料をもとに教職員研修や学校訪問指導などをおして、各校に指導する。
25	0千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 【重点施策】

【部局課所室】 251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】 3082 【取組 事業名】 有害環境対策

【事業概要】 関係機関、団体との連携により、有害図書類等自動販売機の撤去やインターネットカフェ、カラオケボックス等青少年の非行防止のための啓発活動を行う。

【事業の課題】 青少年の健全育成を図るうえで、社会環境の及ぼす影響は極めて大きいことから、関係機関、団体と地域住民が一体となってより良い環境づくりに取り組む必要がある。

【事業の目標】 青少年が豊かな心と知性あふれる社会人として成長するよう、より良い環境づくりを推進します。

【事業の目標指標】
 <指標> 広報啓発活動の実施回数
 <基準値 (20年度)> 5回
 <目標値 (26年度)> 5回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	100千円	100千円	5回	広報啓発活動の実施。
23	100千円	100千円	5回	広報啓発活動の実施。
24	100千円	100千円	5回	広報啓発活動の実施。
25	100千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 【重点施策】

【部局課所室】 251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】 3083 【取組 事業名】 環境浄化活動

【事業概要】 青少年に有害な図書、ビデオ等自動販売機の調査や情報交換を行い、関係機関・団体との連携を図りながら、環境浄化活動を行う。

【事業の課題】 青少年に有害な図書、ビデオ等の自動販売機が秋田市内全域に見られるため、少年指導委員の地域巡回が求められている。

【事業の目標】 青少年に有害な図書、ビデオ等の自動販売機が秋田市内全域に見られるため、少年指導委員および地域の関係機関との連携を行い環境浄化活動を行います。

【事業の目標指標】
 <指標> 巡視回数
 <基準値 (20年度)> 72回
 <目標値 (26年度)> 70回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 17歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	680千円	653千円	56回	地域巡回活動
23	680千円	573千円	60回	地域巡回活動
24	680千円	679千円	62回	地域巡回活動
25	680千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 【重点施策】

【部局課所室】 251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】 3084 【取組 事業名】 街頭巡回指導

【事業概要】 市で委嘱している少年指導委員が、少年非行の未然防止を図るため、秋田駅周辺や千秋公園を定期的に巡回するほか、市内を9地区に分けてそれぞれの地域の実情に応じた巡回を行う。さらに、少年非行に関する研修会の開催や、広報活動、各種キャンペーン活動のほか、中学校総合体育大会や土崎港曳山まつり、竿燈まつりをはじめとした各種イベント時には、特別巡回を行う。

【事業の課題】 有害図書、がん具、自動販売機に加え、インターネットを通じた出会い系サイト、デリヘル、テレホンクラブの関与により、特に、女子少年を大人からの被害から防止することが大きな課題となっている。少年の規範意識の低下が見られるため、関係機関との連携に基づく、市民による非行防止の多様な活動・行事の展開が重要な課題となっている。

【事業の目標】 青少年の規範の確立と健全育成のために市民による地域ぐるみのサポート体制を確立します。

【事業の目標指標】
 <指標>巡回指導回数
 <基準値(20年度)>117回
 <目標値(26年度)>150回

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	1,361千円	1,216千円	100回	定例街頭巡回、特別巡回、地区巡回指導
23	1,361千円	1,093千円	104回	定例街頭巡回、特別巡回、地区巡回指導
24	1,361千円	1,261千円	107回	定例街頭巡回、特別巡回、地区巡回指導
25	1,361千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
 【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 【重点施策】

【部局課所室】 251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】 3085 【取組 事業名】 少年相談活動

【事業概要】 相談専用電話「わかくさ相談電話」を設置し、青少年に関わるいろいろな悩みや心配事に専任の相談員が応じるほか、面談も行う

【事業の課題】 青少年の抱える問題や悩みの相談は、本人より母親からの相談が多い。

【事業の目標】 青少年が抱える問題や悩みの早期発見、早期解決を図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>わかくさ相談電話件数
 <基準値(20年度)> 28件
 <目標値(26年度)> 120件

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	30千円	30千円	32件	専任の相談員が応じるほか、面談も行う
23	30千円	30千円	29件	専任の相談員が応じるほか、面談も行う
24	30千円	30千円	25件	専任の相談員が応じるほか、面談も行う
25	30千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-1子どもの育成
【施策名】 308青少年の健全育成活動の推進 **【重点施策】**

【部局課所室】 251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】 3086 **【取組 事業名】** 青少年健全育成広報活動

【事業概要】 青少年健全育成に関する情報を提供するほか、少年指導センターの活動を紹介する。

【事業の課題】 青少年健全育成活動の推進をするため、少年指導委員の地域活動や広報活動にまだ、ばらつきがあるため、家庭や地域との連携の温度差を解消すること。

【事業の目標】 青少年健全育成に対する家庭や地域の取組を支援します。

【事業の目標指標】
 <指標> 広報啓発回数
 <基準値 (20年度)> 9回
 <目標値 (26年度)> 5回 (18回から変更)

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 6歳 ~ 17歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	58千円	45千円	3回	わかぐさ発行、地域の広報発行
23	58千円	45千円	3回	わかぐさ発行、地域の広報発行
24	58千円	45千円	3回	わかぐさ発行、地域の広報発行
25	58千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】

子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】

3-1子どもの育成

【施策名】

308青少年の健全育成活動の推進

【重点施策】

【部局課所室】

251200子ども未来部 1003少年指導センター

【取組 事業No】

3087

【取組 事業名】 地区少年指導委員会活動

【事業概要】

市内9地区に分けて少年指導委員会を組織し、少年指導委員の資質や指導技術の向上を図るための研修会を開催するほか、各地区の関係機関・団体との連携・協力体制を構築する。

【事業の課題】

少年指導委員の自主活動を推進し、地域の実情に即した活動をどうするか。

【事業の目標】

少年指導委員の自主活動を推進し、地域の実情に即した活動を展開します。

【事業の目標指標】

指標>研修会の回数
 <基準値(20年度)>12回
 <目標値(26年度)>18回

【関係HP】

【事業対象の区分】

子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()

<子どもの対象年齢> 6歳～17歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	12千円	12千円	11回	9地区研修会、合同研修会の実施
23	12千円	12千円	11回	9地区研修会、合同研修会の実施
24	12千円	12千円	11回	9地区研修会、合同研修会の実施
25	12千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
【施策名】 309若者の自立支援 【重点施策】

【部局課所室】 357000商工部 15商工労働課

【取組 事業No】 3091 【取組 事業名】 高校生就職支援事業

【事業概要】 就職を目指す高校生を対象に、就職の状況や職業観の醸成を図るとともに必要な知識等を習得させ、就職を実現させる。

【事業の課題】 景気の低迷や企業の採用手控えによる求人数の減少。

【事業の目標】 スキルアップなどにより即戦力となり得る高校生を育成し、就職率 100%を達成します。

【事業の目標指標】
 <指標> 高校生就職率
 <基準値 (20年度)> 99%
 <目標値 (26年度)> 100%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	3,807千円	3,342千円	96.6%	高校 3年生向け講座 : 9校 13講座 317人受講、 高校 2年生向け講座 : 7校 7講座 395人受講
23	3,807千円	2,064千円	99.5%	高校 3年生向け講座 : 7校 13講座 353人受講、 高校 2年生向け講座 : 9校 7講座 461人受講 より早い時期から職業観の醸成を図るため、 24年度からは新たに、高校 1年生向け講座も実施する
24	7,142千円	6,534千円	未確定 (7/20頁に判明)	高校 3年生向け講座 : 10校 15講座 476人受講、 高校 2年生向け講座 : 10校 7講座 524人受講、 高校 1年生向け講座 : 7校 8講座 859人受講
25	7,122千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 309若者の自立支援 【重点施策】

【郵局課所室】 357000商工部 15商工労働課

【取組 事業No】 3092 【取組 事業名】 若年者就業能力向上支援事業

【事業概要】 未就職の高校新卒者等が、企業で実務的な研修を行い就職に結びつける。また、若年求職者が就職に必要な資格取得の費用や企業の労働者が業務に必要な資格を取得するための費用を補助する。

【事業の課題】

【事業の目標】 企業で実務的な研修を行うことにより、就職意欲を高め、就職に結びつける。就職や業務に必要な資格取得費用を補助することにより、資格取得の意欲を高め、就職に結びつけるとともに、企業の人材育成を図る。

【事業の目標指標】
 <指標> 資格取得助成事業補助金交付者数 (旧 :研修生および資格取得者数)
 <基準値 (20年度)> -
 <目標値 (26年度)> 30人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	10,000千円	2,941千円	63人	
23	3,150千円	3,150千円	64人	24年度から対象者を求職者に限定する
24	2,000千円	1,300千円	26人	若年求職者の資格取得を支援した
25	1,700千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 309若者の自立支援 【重点施策】

【部局課所室】 357000商工部 15商工労働課

【取組 事業No】 3093 【取組 事業名】 若者の自立支援

【事業概要】 社会的自立に困難を抱える若者に就労や社会参加の機会を与えると同時に、地域社会においてこのような若者を支える体制づくりをするための「若者の自立支援セミナー」を開催する。
 また、就労に意欲のある若者に対しては、就職に必要な知識等を身につけるための講座を受講してもらおう

【事業の課題】 社会的自立に困難を抱える若者の実態把握と社会的基盤の整備。

【事業の目標】 地域や企業等において若者を支える体制をつくるための周知・啓発が必要であり、そのための「若者の自立支援セミナー」を充実させます。

【事業の目標指標】
 <指標>セミナー参加者数
 <基準値(20年度)>150人
 <目標値(26年度)>200人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 (地域ボランティア)
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	235千円	120千円	101人	
23	235千円	123千円	80人	講演会の周知を図る
24	185千円	164千円	80人	セミナーの実施に協力した
25	180千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 309若者の自立支援 【重点施策】

【部局課所室】 207000福祉保健部 70介護保険課

【取組 事業No】 3094 【取組 事業名】 介護雇用プログラム推進事業

【事業概要】 介護事業者等が、市との委託契約により離職失業者等を有期雇用契約労働者（1年以内の契約を更新し、最長2年間）として雇い入れ、介護施設等で働きながら介護資格（介護福祉士又はホームヘルパー2級）取得のための養成講座を受講できるようにする。

【事業の課題】

【事業の目標】 介護施設等（障害福祉施設含む。）で働きながら養成機関に通い、介護資格を取得することで、離職失業者等に対して次の雇用までの短期の雇用 就業機会を創出します。

【事業の目標指標】
 <指標>資格取得者数
 <基準値（20年度）> -
 <目標値（26年度）> 62人

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算（見込み）	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	163,212千円	59,658千円	ヘルパー資格取得 14人	介護施設等で働きながら介護資格を取得するよう委託する。
23	73,847千円	47,544千円	ヘルパー資格取得 9人 介護福祉士資格取得 8人	介護施設等で働きながら介護資格を取得するよう委託する。
24	16,921千円	13,282千円	介護福祉士資格取得 4人	介護施設等で働きながら介護資格を取得するよう委託する。24年度で事業終了
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
【施策名】 309若者の自立支援 【重点施策】

【部局課所室】 201000福祉保健部 10福祉総務課

【取組 事業No】 3095 【取組 事業名】 修学一時資金緊急支援金交付事業

【事業概要】 秋田市に居住する者又はその子弟が大学等に入学する際の入学金・支度金などの一時的費用を、秋田市内の金融機関から借りた場合に、利子補給金を交付するとともに、無利子の生活福祉資金等を利用している世帯へ一定額の給付を行う。なお、その額は、どちらも10万円を上限とする。平成22年1月から事業(制度)を開始している。

【事業の課題】 本事業は、当初、本市の厳しい経済状況をふまえた時限的の制度(2年限りと想定)としていたことから、今後、国の動向や経済状況を踏まえ、毎年度、事業継続の必要性を検討していく。

【事業の目標】 進学等に伴う経済的負担の軽減を図り、進学を支援します。

【事業の目標指標】
<指標> 支援金交付者数
<基準値(20年度)> -
<目標値(26年度)> 660人

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/mn/shugaku.htm>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	25,851千円	4,103千円	利子補給金支給件数 : 14件 給付金支給件数 : 38件	利子補給金の交付については、制度設計時に対象者数を230件と見込んでいたが、実際には市内の教育ローンを利用する者は所得を加味しなくても全体で200件程度であることが明らかになった。従って、申込実績は概ね実態に即した数値と考えられることから、利用者から一定の評価を得ている給付金とともに、申込実績に合わせた予算額に圧縮する。
23	6,662千円	1,635千円	利子補給金支給件数 : 17件 給付金支給件数 : 11件	本事業は、当初時限的の制度(2年限りと想定)としていたことから、今後、国の動向や経済状況を踏まえ、毎年度、事業継続の必要性を検討していく。
24	5,574千円	2,053千円	利子補給金支給件数 : 15件 給付金支給件数 : 18件	制度を周知するため、広報あきた(3月1日号)への掲載や市内の高校等へのチラシ送付によるPRに努めた。また、本事業は、当初、時限的の制度(2年限りと想定)としていたことから、今後、国の動向や経済状況を踏まえ、毎年度、事業継続の必要性を検討していく。
25	2,908千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
【施策名】 310若者同士の交流機会の拡大 【重点施策】

【部局課所室】 251000子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No】 3101 【取組・事業名】 あきた結婚支援センターとの連携による支援 (旧・若者が創る出会いの場応援事業)

【事業概要】 あきた結婚支援センターの活動と連携して、若者の結婚に対する希望が実現されるよう支援していく。

【事業の課題】 「婚活」という言葉に象徴されるように、「結婚したい」と考えていても結婚に至らない人が増えてきている。50歳で一度も結婚したことがない人の割合である「生涯未婚率」は上昇の一途をたどっており、とりわけ男性は7人に一人が一度も結婚したことがない、という状況である。(平成17年国勢調査)個々のライフスタイルが大きく変容したことや、近年の傾向として、若者の経済基盤が脆弱になっていることなど、様々な要因が想定されるが、過去の本市アンケート調査の結果によると、「理想とする条件の相手とめぐりあわないから」交際をスタートするチャンス、出会いが少ないから」などを理由に挙げている人も多い。このような中、平成23年度から、あきた結婚支援センターが立ち上げられており、その活動と連携した取組が必要である。

【事業の目標】 若者の結婚に対する希望が実現されるよう支援します。

【事業の目標指標】 <指標> あきた結婚支援センター登録会員数 (秋田市民)
<基準値 (20年度)> -
<目標値 (26年度)> 600人

【関係HP】 あきた結婚支援センター HP <http://www.sukoyaka-akita.com/>

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
<子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算 (見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容・課題・対応方針等
22	930千円	930千円	受託者 秋田商工会議所 実行委員会 市内在勤・在住の独身男女10人 実施内容 ウォークラリー&パーティー2回、クリスマスパーティー1回の計3回開催 参加者数 延べ168人 (男84人・女84人) 満足度 86.1% (3回平均)	参加者数、満足度ともに今年度の目標を達成することができた。一部、定員を上回る申込みがあったこと、満足度が高かったことを踏まえ、23年度は2団体に委託する。
23	1,703千円	1,597千円	受託者 秋田商工会議所 FM秋田 実行委員会 いずれも市内在勤・在住の独身男女10人 実施内容 ウォークラリー&交流パーティ2回、新年交流パーティー1回の計3回開催 スポーツ観戦&交流パーティー2回、交流パーティー1回の計3回開催 参加者数 延べ149人 (男75人・女74人) 延べ157人 (男82人、女75人)	今年度は2団体に委託し、満足度はわずかに目標に達しなかったものの、多くの参加があり一定の効果があった。24年度は、開催団体の自主性を重視し、委託から補助に切り替える。

			満足度 92.2% 78.3% いずれも3回 平均	
24	1,360千円	706千円	補助対象者 雄和振 興公社 FM秋田 実施内容 恋のバス 旅 1回 カクテル教室 & 交流パーティ1回、日本酒 教室 & 交流パーティ1回の 計 2回 参加者数 延べ 8人 (男 4人・女 4人) 延べ 75人 (男 49人・女 26人) 満足度 100% 89.2%	補助事業は24年度で終了し、25年度からはあ きた結婚支援センターと連携しながら支援して いく
25	1,098千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 310若者同士の交流機会の拡大 【重点施策】

【部局課所室】 100500企画財政部 10企画調整課

【取組 事業No】 3102 【取組 事業名】 秋田駅周辺まちづくりイベント支援事業

【事業概要】 若い世代のまちづくりの担い手を育てるため、秋田市中心市街地活性化基本計画区域での新たなまちづくりイベントの事業費の一部を助成する。
 また、若者を中心とする各団体のメンバーが一堂に会し、若者の居場所や交流の場づくり等の少子化を克服するための活性化策について、様々な視点から話し合っ場を設け、今後の活動の発展につなげていく。

【事業の課題】

【事業の目標】 若者による地域活性化のためのイベントに対して、事業費の一部を助成することで、交流と賑わいづくりを図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>助成団体数(旧 参加者満足度)
 <基準値(20年度)> -
 <目標値(26年度)> 5団体

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	3,000千円	2,941千円	5事業を選定し、助成金を交付した	応募が12件と需要が高い事業であったが、今後は賑わい作りを図るとともに、若者同士の交流についても推進していく。
23	3,000千円	3,000千円	5事業を選定し、助成金を交付した	応募に対し、8件の申請があり、公開審査により助成額を決定した。また、助成団体を対象に、にぎわい交流館において、交流会議を実施し、意見交換をした。
24	3,000千円	3,000千円	6事業を選定し、助成金を交付した	応募に対し、9件の申請があり、公開審査により助成額を決定した。また、助成団体を対象に、にぎわい交流館において、交流会議を実施し、意見交換をした。
25	5,000千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組みます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 310若者同士の交流機会の拡大 【重点施策】

【郵局課所室】 100500企画財政部 10企画調整課

【取組 事業No】 3103 【取組 事業名】 トップスポーツクラブ主催イベントへの支援

【事業概要】 秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンプレッツの3チームが主催する、選手とのふれ合いやスポーツ体験、または若者同士の交流、出会いの機会となるイベントに対し、その開催経費を補助する。

【事業の課題】

【事業の目標】 若者による地域活性化のためのイベントに対して、事業費の一部を助成することで、交流と賑わいづくりを図ります。

【事業の目標指標】
 <指標>参加者満足度
 <基準値(20年度)> -
 <目標値(26年度)> 100%

【関係HP】

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	300千円	100千円	秋田ノーザンプレッツのプレッツナイト2019に対し補助金を交付した。(9/3(金)ホテルメトロポリタン秋田で開催)	イベントに対する補助のため、対象経費が明確にしづらく、補助効果も見いだし難い点が課題であった。 また、申請する側にとっては、補助金を充てたい事業が、当該事業目的および内容と合致しないため、申請に至らないケースがあった。そのため、平成22年度は、1チームから申請があったものの、他の2チームは、未申請である。 上記により、平成23年度からは当該補助事業を廃止したものの。
23	千円	千円		【事業終了】
24	千円	千円		【事業終了】
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】

取組・事業検証シート

【章】 3次代の親の育成

【基本目標】 子どもを心身ともに健やかに育成するとともに、若者の就業や結婚を応援することで、次代の親の育成に取り組めます。

【施策群名】 3-2若者への支援
 【施策名】 310若者同士の交流機会の拡大 【重点施策】

【部局課所室】 356000商工部 40大森山動物園

【取組 事業No】 3104 【取組 事業名】 動物園ときめきナイト事業

【事業概要】 若者による実行委員会を組織し、若者が動物園で集い、ガイドツアーや大森山の景観を楽しむなどの企画を開催する

【事業の課題】 集客、悪天候時の代替企画

【事業の目標】 若者が動物園で集う出会いの場を創出し、秋田の若者の交流機会拡大を図る。

【事業の目標指標】
 <指標>参加者満足度
 <基準値(20年度)>
 <目標値(26年度)> 100%

【関係HP】 大森山動物園ホームページ

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分 ()
 <子どもの対象年齢> 歳 ~ 歳

年度	予算	決算(見込み)	目標指標に対する実績	主な取組内容 課題 対応方針等
22	千円	千円		
23	86千円	86千円	夏と冬、計2回の交流会に延べ63名の若者が参加	業務委託で2回の交流会企画を実施したが、委託費の支払いが全て終了後であったため、受託先に負担となってしまったため、委託費の支払いを各回ごとに支払いが可能となる契約内容に改善する。
24	1,000千円	1,000千円	夏と冬、計2回の交流会に延べ61名の若者が参加	参加者の満足度を得られたものの、動物園にて実施する際の課題が多く、外部団体による類似イベントも増加していることから終了とした。
25	千円	千円		【事業終了】
26	千円	千円		【事業終了】